

第12回あいち経営フォーラム分科会

時代に対応し

変革し続ける企業に

「蓄積された経営の英知」を活かして

美馬 徹氏 関西金属工業(大阪同友会)

第1分科会

「企業変革支援プログラム」では、自社の「同友会らしき」の実践度合いを数値と円グラフで確認できます。経営者としての自分の採点と、社員達による採点の平均値と小ささを愕然としてしまいませんか。しかし、よく言われるのは、円を大きくするのが目的ではなく、大切なのは課題に気付くことであること。



美馬 徹氏

グループ討論発表では「これは社員達を巻き込んで経営指針を作成するツールであり、経営課題を一緒に解決していくツールでもある」という意見が発表されました。私も自社の社員達とのコミュニケーションツールとして活用したいと思えます。

名北労務管理事務所 平野 匡彦 (名古屋第2青同)

夢と誇りの持てる

活力ある企業づくり

大野 正博氏 中部製作所(中川地区)

第2分科会



大野 正博氏

現在取り組んでいる会社の改革や、社員といかに想いを共有しているかを、大野氏よりお話しいただきました。商社から製造業への転換に伴い、大野氏は国籍や人種を

べき方向を明確にし、その想いを社員や顧客に対して常に発信し続けることの重要性を

再認識しました。(有恒(KOU) 建築設計 恒川 康典(中村地区))

将来の柱になる事業を

見つけよう

5年、10年先をみて今、手を打つ

鳥越 豊氏 鳥越樹脂工業(宮地区)

第3分科会



鳥越 豊氏

一社依存型を脱却して一業種依存型の経営体質から脱却し、堅実に業績を伸ばしている鳥越氏。売上げ九五%減に加え不渡りを出すという、絶体絶命の危機からの復興を通じて学ばれた気づきと、それを実践するパワーの源について報

金融機関と共に

実現する経営計画

経営危機から立ち直ったのは「管理会計」だった

青野 徹氏 青野(ハンスコーポレーション)(名古屋第1青同)

大板 一志氏 大板(有志経営 大板会計事務所)(守山地区)

由里 宗之氏 中京大学 総合政策学部教授(会外)

第5分科会



青野 徹氏

お金が借りられないのは、経営が赤字だからではなく、お金を借りた後の説明が、数字の裏付けを伴った形で伝えられないから、それができるのが管理会計なのです。金融機関としては、財務状態の悪い会社に対し融資を断



大板 一志氏

る理由はいくらでもありますが、そういう会社にもお金を貸しています。ただ、貸せる理由のある会社が少ないのです。その理由となるものは、経営計画書や資金繰り表などで、それも提出せずに「融資をしてください」と言っても



徳島 孝志氏

事業継承を成功させるにはまず実績を作り、社長から答えを導き出すことが大切だと徳島氏はいいます。先代がその想いを明確に伝

事業承継を

飛躍のチャンスに

先代・先輩から引き継がれる「絆」とは

徳島 孝志氏 徳島興業(名古屋第3青同)

第6分科会



吉田 周生氏

吉田氏の報告は、経営者ならば誰もが聞きたいと思うもので、働きがいや企業の社会的責任について、私たちの腹に「ズシン、ズシン」と落とし込まれて来ました。ちょっととしたキッカケから障害者を受け入れ、そこから

誰もが働ける会社へ

社員は笑顔で働いていますか？

吉田 周生氏 吉田(ヨシダ精工・プレジャーワーク)(熊本同友会)

第7分科会

共に働く中で、彼らの仕事に對するひたむきさ、挨拶や返事の素直さに、たぐさんの力をもらえたという吉田氏。日々とんでもない事が起きますが、一つひとつ彼らと一緒に解決していきます。そして彼らと一緒にいると、なぜか楽しいのだそうです。一人ひとりを認める気持ちと愛情、真剣さ、懐の深さがかがわれ、人として何が大切かを教えられました。(有アイコー 高橋 康子(春日井地区))

「学んだら、即実践」を確認するために、今日から何をすることができる分科会でした。 興和運輸(株) 岡崎 直人(南地区)

環境経営で企業革新

板金・塗装の下請業から

人・車・地球を元気にするメーカーへ

佐藤 全氏 佐藤(ヴィ・クルー)(富城同友会)

第4分科会



佐藤 全氏

佐藤氏の会社ヴィ・クルーは昨年の「同友エコ」中同協幹事長賞を受賞しています。背伸びをしない「ちょいエコ」活動が作業改善を生み、大幅なコスト削減と売上増を達成しました。それは経営指針を社員と共有し、理念を明確にしてきた土壌があった成果でした。 ヴィ・クルーの経営理念は 由利 信太郎(緑地区)

「緊急時だけでなく平常時でも、経営指針と合わせ、管理会計の有用性を認識した分科会でした。 安藤不動産 安藤 寿(尾張西青同)

意見が印象的でした。 三幸理研工業(株) 三枝義典(名古屋第3青同)